



2024年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年1月31日

上場会社名 タツタ電線株式会社
コード番号 5809 URL <https://www.tatsuta.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山田 宏也
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員 (氏名) 今井 雅文

TEL 06-6721-3011

四半期報告書提出予定日 2024年2月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	48,033	3.1	2,093	54.3	2,209	43.2	1,604	43.8
2023年3月期第3四半期	46,591	3.2	1,356	43.6	1,543	39.8	1,115	36.8

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 1,672百万円 (98.0%) 2023年3月期第3四半期 844百万円 (44.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
2024年3月期第3四半期	25.97	
2023年3月期第3四半期	18.06	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
2024年3月期第3四半期	59,779	49,554	82.9	802.12
2023年3月期	58,457	47,882	81.9	775.04

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 49,554百万円 2023年3月期 47,882百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
2023年3月期		9.00		0.00	9.00
2024年3月期		0.00			
2024年3月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

2022年12月21日付けで公表した「ENEOSホールディングス株式会社の完全子会社(JX金属株式会社)による当社株式に対する公開買付けの開始予定に関する意見表明のお知らせ」でお知らせしましたとおり、当社株式は上場廃止となる予定であるため、2024年3月期の連結業績予想は記載しておりません。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期3Q	70,156,394 株	2023年3月期	70,156,394 株
期末自己株式数	2024年3月期3Q	8,376,590 株	2023年3月期	8,376,022 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期3Q	61,780,143 株	2023年3月期3Q	61,781,214 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・2022年12月21日付けで公表した「ENEOSホールディングス株式会社の完全子会社(JX金属株式会社)による当社株式に対する公開買付けの開始予定に関する意見表明のお知らせ」でお知らせしましたとおり、当社株式は上場廃止となる予定であるため、2024年3月期の連結業績予想は記載しておりません。
- ・決算補足説明資料は、TDnetで同日開示するとともに、当社ホームページにも掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における日本経済は、新型コロナウイルス感染症の法的位置づけが5類へ移行され、経済活動が正常化に向かうとともに、企業収益、設備投資、生産、個人消費等の各面で緩やかな持ち直しが続きました。世界経済も一部の地域において弱さがみられるものの、同感染症の影響が緩和される中で持ち直している状況にあります。しかしながら、世界的な金融引き締めが進む中での金融資本市場の変動や物価上昇、高水準で推移する資源価格や原材料価格、ロシア・ウクライナ情勢の長期化の影響、中東情勢緊迫化等、依然として先行き不透明な状況が続いています。

当社製品の主要原料である銅の当第3四半期連結累計期間の国内建値平均価格は、前年同期を上回る水準となりました。

この間において、国内銅電線の需要は足元で一部電線の需給ひっ迫はありますものの総体としては前年同期をやや上回る水準で推移する一方で、産業機器電線分野では一部向け先で需要の鈍化もみられました。機能性フィルムの主要用途であるスマートフォンの販売量は世界的な物価上昇、中国を中心とした景況悪化、買い替え需要の長期化等により低迷し、素材需要もその影響を受けました。

こうした環境のもと、当第3四半期連結累計期間の売上高は48,033百万円（前年同期比3.1%増）、営業利益は2,093百万円（前年同期比54.3%増）、経常利益は2,209百万円（前年同期比43.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,604百万円（前年同期比43.8%増）となりました。

当社は、本第3四半期決算短信の提出日現在、株式会社東京証券取引所に上場しておりますが、2022年12月21日付けで公表した「ENEOSホールディングス株式会社の完全子会社（JX金属株式会社）による当社株式に対する公開買付けの開始予定に関する意見表明のお知らせ」でお知らせしましたとおり、各国競争法上のクリアランスの見込みが立ち次第JX金属株式会社は当社株式に対する公開買付けを開始する予定です。

なお、2024年1月31日付けで公表した「（開示事項の経過）ENEOSホールディングス株式会社の完全子会社（JX金属株式会社）による当社株式に対する公開買付け実施に向けた進捗状況のお知らせ」でお知らせしましたとおり、JX金属株式会社としては、中国における競争当局の求めに応じ、問題解消措置に関する協議を含めて必要手続を随時進めているものの、審査が継続しており、中国競争法に基づく必要な手続及び対応が完了していないため、本公開買付けが開始される時期は2024年2月以降となることを見込んでいるとのことです。

本公開買付け及びその後の一連の取引により当社は公開買付け者の完全子会社となり、上場廃止となる予定です。

今後、両社の経営資源の効率的活用、電子材料分野における事業競争力の更なる強化、電線・ケーブル分野の事業基盤の強化等の事業シナジーを具現化し、企業価値向上に努めてまいります。

セグメントごとの業績の概況は次のとおりです。

<電線・ケーブル事業セグメント>

産業機器電線分野における需要の鈍化はありましたものの、インフラ電線分野において電力会社や発電所向け及び建設電販向け等で増販（前年同期比6.6%増）となったこと、さらには原材料価格高騰による販売価格の見直し等により、売上高は34,679百万円（前年同期比7.0%増）となりました。営業利益は上記に加え、品種構成改善、コスト削減等に努めた他、銅価変動影響もあり、1,452百万円（前年同期比761.0%増）となりました。

<電子材料事業セグメント>

当社主力製品である機能性フィルムは、主要用途であるスマートフォンの買い替え需要の長期化等により生産台数も低水準で推移したこともあり販売量が減少（前年同期比12.0%減）し、売上高は11,552百万円（前年同期比7.1%減）、営業利益はコスト削減等に努めましたものの1,175百万円（前年同期比28.8%減）となりました。

<その他事業セグメント>

医療機器部材は新規製品の拡販もあり増収となりましたが、センサー、環境分析の各事業では需要停滞、諸コストの増加もあり、売上高は1,824百万円（前年同期比3.8%増）、営業利益は12百万円の損失（前年同期は82百万円の利益）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前期末に比べ1,321百万円増加し、59,779百万円となりました。これは、短期貸付金が増加したこと等によるものです。

負債の部は、前期末に比べ350百万円減少し、10,225百万円となりました。これは、未払金および未払費用が減少したこと等によるものです。

純資産の部は、前期末に比べ1,672百万円増加し、49,554百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上及びその他有価証券評価差額金が増加したこと等によるものです。

以上の結果、自己資本比率は前期末に比べ1.0ポイント上昇し、82.9%となっております。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年12月21日付けで公表した「ENEOSホールディングス株式会社の完全子会社（JX金属株式会社）による当社株式に対する公開買付けの開始予定に関する意見表明のお知らせ」でお知らせしましたとおり、当社株式は上場廃止となる予定であるため、2024年3月期の連結業績予想は記載しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,246	1,638
受取手形及び売掛金	20,973	20,813
製品	3,852	4,373
仕掛品	6,653	6,132
原材料及び貯蔵品	1,822	2,042
短期貸付金	4,611	5,363
その他	613	447
貸倒引当金	△12	△12
流動資産合計	39,761	40,798
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,508	8,230
機械装置及び運搬具（純額）	3,032	2,646
工具、器具及び備品（純額）	371	371
土地	3,721	3,696
建設仮勘定	295	1,024
有形固定資産合計	15,929	15,969
無形固定資産		
ソフトウェア	136	122
ソフトウェア仮勘定	15	12
施設利用権	4	4
その他	1	1
無形固定資産合計	157	140
投資その他の資産		
投資有価証券	1,067	1,209
長期前払費用	0	59
繰延税金資産	1,190	1,270
その他	521	502
貸倒引当金	△169	△170
投資その他の資産合計	2,609	2,871
固定資産合計	18,696	18,981
資産合計	58,457	59,779

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,279	4,125
1年内返済予定の長期借入金	-	900
未払金	1,243	898
未払費用	1,381	1,071
未払法人税等	87	461
その他	939	908
流動負債合計	7,931	8,366
固定負債		
長期借入金	900	-
退職給付に係る負債	1,572	1,699
資産除去債務	42	37
繰延税金負債	1	11
その他	127	109
固定負債合計	2,644	1,858
負債合計	10,575	10,225
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,676	6,676
資本剰余金	4,516	4,516
利益剰余金	38,792	40,396
自己株式	△2,459	△2,459
株主資本合計	47,525	49,129
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	249	356
繰延ヘッジ損益	131	66
為替換算調整勘定	△55	△33
退職給付に係る調整累計額	31	35
その他の包括利益累計額合計	356	424
純資産合計	47,882	49,554
負債純資産合計	58,457	59,779

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	46,591	48,033
売上原価	37,936	38,751
売上総利益	8,655	9,282
販売費及び一般管理費	7,298	7,188
営業利益	1,356	2,093
営業外収益		
受取利息	11	4
受取配当金	22	23
為替差益	118	76
補助金収入	5	1
その他	45	35
営業外収益合計	203	141
営業外費用		
支払利息	6	6
貸倒引当金繰入額	-	16
災害損失	5	-
その他	6	1
営業外費用合計	17	25
経常利益	1,543	2,209
特別利益		
移転補償金	101	-
投資有価証券売却益	0	23
ゴルフ会員権売却益	-	0
固定資産売却益	0	2
特別利益合計	102	26
特別損失		
固定資産売却損	0	-
固定資産廃棄損	38	12
固定資産譲渡損	-	25
公開買付関連費用	149	26
特別損失合計	187	63
税金等調整前四半期純利益	1,457	2,172
法人税、住民税及び事業税	386	659
法人税等調整額	△45	△91
法人税等合計	341	568
四半期純利益	1,115	1,604
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,115	1,604

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	1,115	1,604
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	13	106
繰延ヘッジ損益	△337	△65
為替換算調整勘定	37	22
退職給付に係る調整額	14	4
その他の包括利益合計	△271	68
四半期包括利益	844	1,672
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	844	1,672

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(原価差異の繰延処理)

原材料費及び加工費の原価差異については、流動資産に繰り延べております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他事業 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
	電線・ ケーブル事業	電子材料事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	32,415	12,438	44,854	1,737	46,591	—	46,591
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	19	19	△19	—
計	32,415	12,438	44,854	1,756	46,610	△19	46,591
セグメント利益	168	1,650	1,819	82	1,901	△545	1,356

(注) 1 「その他事業」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、センサー&メディカル事業、環境分析事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△545百万円は、セグメント間取引消去9百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△555百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究費用であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他事業 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
	電線・ ケーブル事業	電子材料事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	34,679	11,552	46,232	1,801	48,033	—	48,033
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	22	22	△22	—
計	34,679	11,552	46,232	1,824	48,056	△22	48,033
セグメント利益 又は損失(△)	1,452	1,175	2,627	△12	2,615	△521	2,093

(注) 1 「その他事業」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、センサー&メディカル事業、環境分析事業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の調整額△521百万円は、セグメント間取引消去10百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△531百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究費用であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。